

大阪府立茨田高等学校 平成 28 年度 第 1 回学校協議会 記録

開催日時 平成 28 年 6 月 16 日（木） 午後 3 時 20 分～午後 5 時

出席者

協議委員 川村幸治、早坂三郎、寺野雅之、綿世良一、岡邑由紀子

（吉江正彰委員は欠席）

学 校 側 亀元校長、石井教頭、坂東教頭、松井首席、島田首席

【第一部】

①学校長あいさつ

- ・学校の現状報告
- ・韓国教育庁視察団 22 名が 6 月 22 日に本校を訪問する件について。
- ・昨年度の入試では定員（240 名）を割れた。（一般 231 名、二次 8 名）
- ・来年度入試では 2 年生の評定、再来年度からは 1 年生からの評定が調査書に入ってくる。

②自己紹介（協議委員、教員）

③学校経営計画の説明（坂東教頭）

別紙配布資料を参照

○協議委員からの意見

- ・根拠があいまいなので、学校自己診断のデータをつけるなどをして、なぜこの目標にしたのかをはっきりさせたほうがよい。
- ・ユニット研修での研究協議では、指導主事など外部の者を入れた方が、馴れ合いにならない。
- ・本校 W E B ページ（ホームページ）に載せるのならば、一般の人がわかりやすいように工夫が必要である。
- ・（茨田地区は投票率が低いので）選挙に対する意識を高めてほしい。

④広報活動についての説明（松井首席）

- ・刊行物
- ・塾への広報
- ・中学校訪問

○協議委員からの意見

- ・ W E B ページ（ホームページ）の充実
- ・検索エンジンで、「まった」を入れても出てこない。「まった」を入れて検索上位に来るようにできたらいいのだが。

【第二部】

議長：川村委員

テーマ：茨田高校の広報について

○地域の評判、茨田高校の現状

- ・子ども2人が現在在籍しているが、2人とも機嫌よく登校している。
- ・かつては卒業人数が少なく、中退者が多かった。地域の中ではまだ評判は悪い。登下校時の自転車マナーが悪く、危険を感じた地域住民は多い。
(全校朝礼等で生徒に周知する)
- ・茨田高校生が、茨田小学校等の地域の祭りに参加して、地域との交流でよくなったことを認められればいい口コミが広がるのでは。
- ・同窓会を動かす。(茨田高校近くに住んでいる卒業生が多いので) 卒業生が広告塔になるように、自分の母校の評判を上げてもらうように声を掛けてもらっている。
- ・2、3年という年数をかけて、いい口コミを増やし地道に動いていく。
- ・パンフレット中の写真の白さをアップすれば、より明るく見える。
- ・地域との交流は、事前指導・事後指導が大切。生徒に交流をする事の意義を教えることが大切。広報はお金をかければ簡単であるが、公立高校の現状は厳しい。地道に取り組んでいくのが早道だと思う。

○教科書採択について（坂東教頭）

- ・本校では、報道のような問題はない。
7月の教科書採択決定に向けて、現在各教科で検討を開始している。

○校長あいさつ